

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 1月25日

【評価実施概要】

事業所番号	2072100551		
法人名	立科町		
事業所名	ハートフルケアたてしな・グループホームだんらん		
所在地	長野県北佐久郡立科町芦田3723 (電話) 0267-56-1955		
評価機関名	特定非営利活動法人長野県高齢者福祉協会		
所在地	長野市南長野南県町1001番地3陽光丸ビル4階		
訪問調査日	平成20年1月16日	評価確定日	平成20年2月20日

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

長野県東信地区ののどかな環境で介護老人福祉施設、短期入所生活介護、通所介護、訪問介護、居宅介護支援事業と高齢者複合施設となっておりその一角にハートフルケアたてしなグループホームだんらんがある。事業主体が立科町であるため行政とは密な関係が築けており、入居者、家族にとっては安心して利用できる環境となっている。建物は木の温もりを感じる落ち着いた造りで、ペレットストーブが食堂に設置されており入居者の心を和ませる。経験豊富な管理者、職員が「のんびり、ゆったりその方のペースに合わせて」との目的を共有されており押し付けがましいケアがみられず、家庭的な雰囲気となっている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 職場内研修の機会ではAED(自動対外式除細動器)を使用するなどした救急救命訓練を消防機関と実施することによりより充実した研修を行っていることが認められた。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 目指すあり方や全体像は言葉や文章で伝えられますが現場での出来事や日常の場面ではどうなのかを自己評価を通じて見直す機会と捉えるよう話し合いがなされている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は今年度9月1日に発足され会議としては1回のみとなっている。自己評価、外部評価は事業所の会議の中で報告し職員間で共有しているが運営推進会議の中でも報告し様々な角度から活発な意見をもらい反映していくことが望まれる。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 利用者の暮らしぶり、金銭管理等は家族会や面会時に報告している。広報誌「コスモス通信」を毎月発行して生活の様子や職員体制等を掲載して広く周知していることが窺える。家族とは常に話しやすい雰囲気にも努め職員会議や運営推進会議の議題として取り上げてゆこうとする姿勢が感じられる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の文化祭の参加や作品展への出展・見学を積極的に行い、地域との関係を深めている。また年2回の避難訓練では地域の方々も参加していただき共に防災意識を高めている。

【情報提供票より】(19年12月18日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年 2月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 7人, 非常勤 人, 常勤換算 8人	

(2) 建物概要

建物構造	木造一部鉄骨 造り
	1階建ての ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円
敷金	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(12月18日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	1	要介護2	1		
要介護3	6	要介護4	1		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 84.5歳	最低	69歳	最高	93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	(医)川西赤十字病院
---------	------------

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	玄関や職員トイレなどにも理念が大きく掲げられており「毎日の暮らしの中でゆっくり、あせらずに」との独自の目的が理念に加えられている。		「地域住民との交流の下で」を理念に加えることが望まれる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者も職員と同様に現場に出て利用者と接している。月1回の職員会で理念共有し確認するなど言葉の意味を理解している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の文化祭の参加や作品展の出展・見学を実施している。施設の納涼会や各種行事等には地域の方々やボランティアにも参加していただき、受け入れも積極的に行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	目指すあり方や全体像は言葉や文章で伝えられるが現場での出来事や日常の場面ではどうなのかを自己評価を通じて見直す機会と捉えるよう話し合いがなされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	平成19年9月1日に運営推進委員会を発足し、第1回目の会議を開催したところではあるが、立ち上げ時でもあり本来の運営推進会議の役割が十分に果たせていない。		自己評価、外部評価の結果を運営推進会議にて報告し、モニターしてもらうなど、運営推進会議と評価を結びつけ、質の確保を図っていくことを期待します。
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政法人のため地域包括支援センターや担当課との連携が細かくとられている。職員間の馴れ合いが危険要因とならないよう注意していることが感じられる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の暮らしぶり、金銭管理等は家族会や面会時に報告している。広報で職員の異動等に関しては報告されている。「コスモス通信」と題した広報紙を毎月発行している		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族には訪問時や家族会等で常に話しやすい雰囲気而努力している。出された意見や要望は職員会議や運営推進会議の議題として取り上げて行こうとしている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	フロア内に職員の顔写真を掲示し馴染みの関係ができるだけ早く築けるような配慮がされている。職員の人事移動等は最小限に留めるなどの措置を講じて特に配慮して行っている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修では、全職員が参加するよう常にプログラムを研究している。また外部研修として認知症に係る研修等積極的に取り組んでいる。全職員に研修の機会を与えるよう機会を作っている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	広域の中で勉強会や情報交換のネットワーク作りを構築しようと準備している。形式的な交流ではなく日々のサービスや職員教育に役立つ実践的な交流・連携にするため平成20年度から本格的に稼動していくよう準備している。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人・家族が入居前に見学され、施設の雰囲気を実際に味わっていただき納得された上で入居されている。また管理者や職員もご自宅に足を運び、心理的不安が無いように納得を深めた上でサービスを開始している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者からいたわりの言葉が聞かれ、その言動からわかり合えること、支え、支えられたりしながら職員の活力となる関係が構築されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入所前に「誕生してから今までの生活の歴史表」を活用し本人の意向の把握につとめている。また日々の何気ない会話から希望を聞き、部署内会議やカフェインの中で話し合っている。ご家族の希望等は面会ノートを活用している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>年2回程度、家族会を開催しその中であげられた希望やアイデア等を介護計画に反映している。また月に1度のカフェインの中でも話し合い介護計画に反映している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>主にカフェインにて介護計画の見直しを行っており、期間前に開催される。また変化のある方に関しては随時、新たな計画を作成している</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>受診は家族の対応が基本としつつも、困難な場合はスタッフにて送迎や院内の付き添いを行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ほとんどの入居者は以前からかかっていた医療機関へ受診されている。また往診に来てもらうケースもあり、処方薬などは職員が受け取りにいくなどの対応も実施している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化となった際の対応や急変時の対応は契約時に本人、家族に話し、同意を得ている。また、事業所が対応し得る最大のケアについて理解を深めている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>全スタッフさり気ない声かけを心がけており、会議の場で統一を図っている。</p>		<p>個人情報の取扱いやプライバシー保護等の実践を想定したロールプレイング等をまじえた勉強会の実施を期待する。</p>
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な1日の流れはあるが入居者一人ひとりのその日の体調や変化に応じた支援を行っている。変化のある生活、行事への参加等柔軟に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューはあらかじめ決めておくのではなく前日に利用者に合わせて考えている。食事の準備や片づけ等はできるところは一緒に実施し、入居者と職員が同じテーブルで一緒に食事をされている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的な入浴日、時間は決められているが希望により入浴回数や時間は利用者の希望で入ることが可能となっている。入浴を拒まれる方は十分に話をし、納得した上で入浴していただくが納得されない場合は翌日に入っていない等、柔軟に対応している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人の希望や得意分野は積極的に実施していただき、のんびり過ごしていただきながらもレクリエーションで昔の歌などを歌い、楽しみを増やす努力をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	あらかじめ計画を立てた季節の行事や地域行事への参加だけでなく、日常的に出かけられるような支援を積極的に行っている。天気がよく暖かい日には散歩や外食等積極的に行っている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜のみ鍵をかけ、センサーも利用しているが常に利用者の行動範囲を把握するようにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>6月と9月に法人全体で防災計画をもとに、避難訓練を実施している。</p>		<p>様々な災害を想定して事業所ごとの防災訓練や事業所ごとの物品等の準備をすることを期待したい。また災害時のマニュアルの整備を充実させ職員が有事の際対応できるよう期待したい。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>月初めに体重を量り一人ひとりの状態を把握している。テーブルごとに職員が付き栄養状態の把握に努めている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は幼稚な飾りつけがなく、シンプルで落ち着ける空間となっている。居間、食堂はリビングダイニングキッチンのようにっており普通の一軒家のようなため、施設を感じさせない落ち着いた雰囲気となっている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居される際に本人、家族と相談のうえ日用品を持ち込まれる。くつろげる椅子を置いたり、自分の寝具を持ち込んだりと居心地の良さに配慮している。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。